



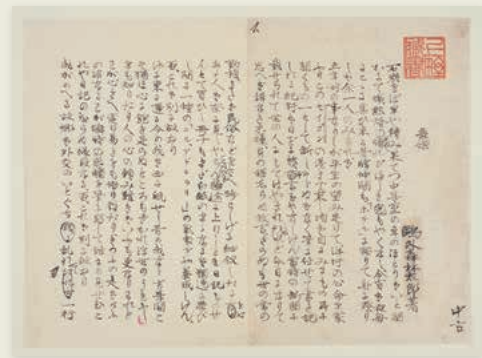
鷗外『塵泥』
千草館
大正4(1915)年12月



鷗外『美奈和集』
春陽堂
明治25(1892)年7月



『舞姫』初出誌
「国民之友」69号 民友社
明治23(1890)年1月



『森鷗外自筆 舞姫草稿』(複製)
跡見学園女子大学刊

小説『舞姫』をよんでみよう！

本展では、鷗外生前に『舞姫』が掲載された雑誌や書籍のほか、創作の背景にあった鷗外自身のドイツ留学や当時の反響などに関連する館蔵資料を展示します。

そして、「国民之友」で発表される直前の明治22年末に執筆した自筆草稿(複製)全28枚を展示します。鷗外は『舞姫』を書籍に収録するたびに推敲を重ねており、今日私たちが教科書などでよむ『舞姫』と自筆草稿とを比べると、

語句の変更や削除箇所があることに気づきます。手書きの文字や推敲の跡に注目しながらよみ、鷗外が吟味を重ねた言葉を味わってください。

展示関連企画

〈講演会〉

「明治20年代の青年太田豊太郎—作品『舞姫』が問いかけてくるもの—」

明治20年代を生きる一青年太田豊太郎が、〈今・ここ〉に生きる私たちに投げかける問いかけを見つめ直してみたいと思います。

講師：須田喜代次氏(大妻女子大学名誉教授、森鷗外記念会会長)
日時：8月30日(土) 14時～15時30分
会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室
定員：50名(事前申込制)
料金：無料(参加票と本展覧会観覧券(半券可)が必要)
申込締切：8月14日(木) 必着

お申し込み方法

【往復はがき】

往信に希望プログラム名・氏名(ふりがな)・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連イベント」受付係まで。

※申し込みは、はがき、メールともに1通につき1名(お一人1通まで)。応募者多数の場合は抽選いたします。

アクセス



モリキネカフェ | 10時30分～17時30分(ラストオーダー 17時)
8/27(水)～29(金) メンテナンス休業

〈朗読体験ワークショップ〉

「『舞姫』を朗読する」(2回講座)

小説『舞姫』を声に出して読む朗読ワークショップです。文語体で書かれた『舞姫』(抜粋)を朗読する全2回の講座、最終日は個人発表を行います。
※9月7日、14日の両日参加可能の方のみの募集です。

講師：内木明子氏(朗読家、早稲田大学・相模女子大学非常勤講師)
日時：9月7日(日)、14日(日)
13時30分～15時30分
会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室
定員：16名(事前申込制)
料金：3,500円(2回分)
申込締切：8月22日(金) 消印有効

【Eメール】

件名に希望プログラム名、本文に氏名(ふりがな)・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、下記へ。
bmk-event@moriogai-kinenkan.jp

〈ギャラリートーク〉

いずれも申込不要、高校生以上は展示観覧券が必要です。

◎学芸員によるコレクション展ギャラリートーク
日時：7月30日、9月3日(いずれも水曜日)
14時～(30分程度)

◎学芸員による子ども向けギャラリートーク
当館学芸員と共に鷗外の生涯(常設展示)をめぐるります。

日時：8月3日(日) 13時～(30分程度)
対象：小学校4年生から

鷗外忌記念展示

7月9日の鷗外命日(鷗外忌)にちなみ、鷗外「遺言書」の原資料を展示します。また、鷗外忌当日は9時から開館し、展示を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼントします。

「遺言書」展示期間：7月4日(金)～31日(木)の開館日

日本近代文学館のご案内

公益財団法人日本近代文学館2025年度夏季企画展
「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅲ—森鷗外『舞姫』とその時代—」

会期：2025年6月28日(土)～9月6日(土)
休館日：毎週日曜、月曜(祝日開館、翌火曜休館)、第4木曜(7/24、8/28)
開館時間：9時30分～16時30分(最終入館16時)
観覧料：一般300円(20名以上の団体は一人200円) 中学・高校生100円

編集委員：須田喜代次、紅野謙介
主催・会場：公益財団法人 日本近代文学館

〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-55(駒場公園内)
電話 03-3468-4181
URL <https://www.bungakukan.or.jp/>

文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
電話 03-3824-5511
URL <https://moriogai-kinenkan.jp>

次回展示

特別展「宮内省の官僚・森鷗外(仮)」
2025年10月11日(土)～2026年1月12日(月・祝)